

きみだけの『よりたかくとぶ紙とんぼ』をつくらう

みなさんは竹トンボを飛ばしたことがありますか。

手のひらでこすり合わせると空高くとんでいく竹トンボ。

その竹とんぼよりずっとかんたんにつくれる、楽しい『紙トンボ』をつくってとばしてみましよう。

はねのかたちをくふうするとより高く、よりとおくまでとばすことができます。

【材料】

- ・型紙 (ケント紙)
- ・竹ぐし (直径3mm×長さ15cm)
- ・カラーラベル (直径2cm)
- ・両面テープ
- ・セロハンテープ

【道具】

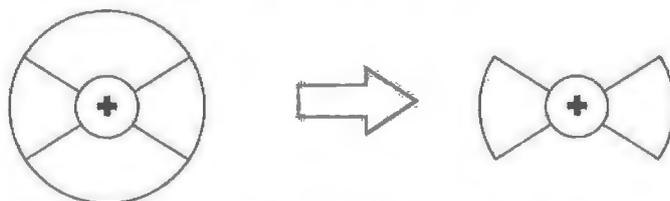
- ・はさみ
- ・カッターナイフ

もとの形を自分なりにくふうして『よりたかくとぶ』とんぼをつくってみましよう。

○みぢかなざいりょうをつかって紙とんぼをつくらう

1. 型紙どおりにあつ紙を切る。

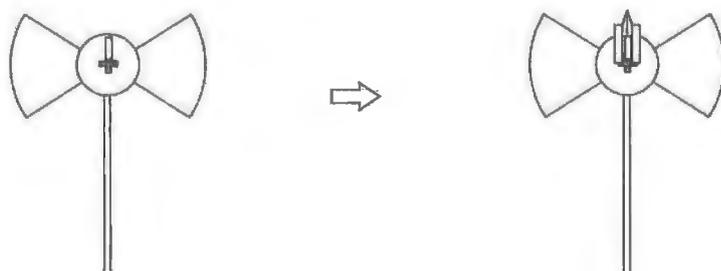
型紙の外側の部分を左右が対称になるように切り、はねを作る。



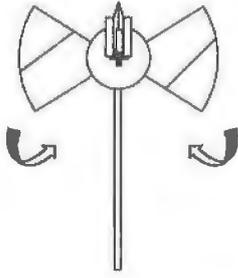
2. 羽の型紙から、くしを押さえる紙を切り取り、4等分して下のような形にする。



3. 『竹ぐし』でじくを作り、はねにさし、2の押さえでじくをはさんでとめる。



4. 羽をねじってできあがり。



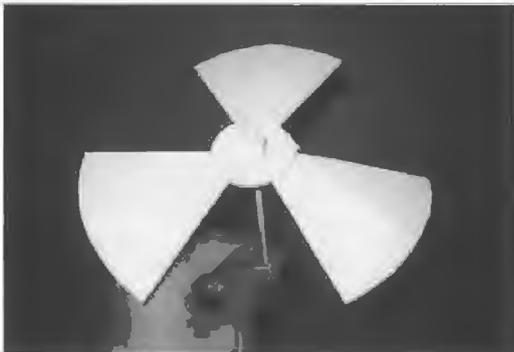
- 良く飛ばないときには、羽の先にシールをはろう。
- 内側の丸い部分が弱い場合には、補強しよう。
(丸く紙を切り取って、つける)

5. 高くとぶ「紙トンボ」、遠くに飛ぶ「紙トンボ」を工夫して作ってみよう。

<ヒント>

- ・はねの幅を広くすると・・・。
- ・はねの幅を、狭くすると・・・。
- ・はねの枚数を増やしてみたら・・・。

いろいろな形の「紙トンボ」を作って飛び方の違いを考えてみよう。



<とばしかたのくふう>

じくをななめ前にすると前にすすみます。

よくとばすためには、はねをねじり、はやくまわすのがコツ。

はねのりょうはしをおもくするとよくまわる。

手の向きは、はねの向きでかわっていきます。どちらの手を前に出すとよくとぶか考えながら飛ばしてみよう。

《気をつけること》

- ・カッターナイフは刃を出したままにしないようにしましょう。
- ・竹ぐしのさきでゆびをささないように上からりょうめんテープでとめておこう。